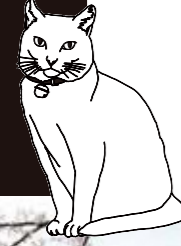


日和山登山ルート

歩いて知るみなと今昔

みなとびあから日和山まで、まちなかの高低差を楽しむプチ登山です。下町を中心にしたルートには、みなとに縁のあるみどころスポットがたくさんあります。



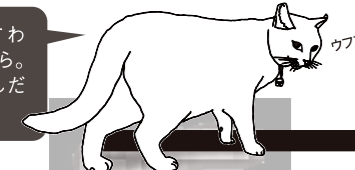
みなとびあの旧税関庁舎

は、新潟港の「運上所」(後の新潟税関)として明治2(1869)年に建てられました。西洋建築をまねて新潟の工が造った建物は、アーチの入り口や鏝戸を模した下見板の窓、なまこ壁などが印象的です。開港5港の税関の建物として唯一現存しているもので、国の重要文化財に指定されています。この門の先の湊町通りは当時「運上道(うんじょうしよみち)」と呼ばれ、市も開かれていました。



明治初年の湊町通り。道幅を示す杭と電信柱がたち、家も建ち始めています。解説板を見るとその場で確認できます。

さ、そろそろ出発ですよ。スタートは河口から。昔、港から荷物を運んだ道を行きますのニャー!



「新潟税関之図」(新潟県立図書館所蔵)

2代目市庁舎



明治44(1911)年に竣工した、2代目の市庁舎(現在のNEXT21の場所にありましたが)をモデルとしています。「あまのてぶり」、「大船絵馬」の復元・再現図などの展示や、さまざまな企画展が随時開催されています。

第四銀行住吉町支店



昭和2(1927)年に竣工した、第四銀行住吉町支店を移築・復原した建物です。外観の列柱や営業室の吹き抜けなどが近代銀行建築の特徴をあらわしています。現在1Fはレストラン、2Fは会議室になっています。



河口間近の信濃川は、ときどき潮の香りもします。対岸は朱鷺メッセ。

早川堀通りをぬけて「浅草観音堂」へ。明治時代、港の安全を祈願するため東京の浅草寺から観音さまが分身され、開かれたお堂ですのニャ。

早川堀通りの案内板 浅草観音堂

湊稲荷神社

こまいぬ 願懸け高麗犬 中央区稲荷町 新潟市指定文化財



湊稲荷神社の解説板にはこんなことが書かれていますニャー。



金刀比羅神社

難船彫刻絵馬 中央区寄合町 新潟市指定文化財



スタンプを集める下町神社めぐりも人気!

文政4(1821)年、大阪から新潟へ向かって北前船「白山丸」が難破しそうになったとき、金刀比羅大権現が現れ船を救いました。この霊験に感謝した白山丸の船主、鈴木彌五左衛門(やござえもん)が建立したと伝えられているのが、寄合町の「金刀比羅神社」です。拜殿には船が救われる瞬間を表現した「難船彫刻絵馬」が掲げられています。

開運稲荷神社

中央区四ッ屋町3



「開運稲荷神社」は、慶安2(1649)年に長岡藩の蔵所(米蔵)の守り神として祀られたのがはじまりといえます。参道には「こんこん様」とよばれる一対の狐の石像がありますが、これは明治時代の初め、出雲国(島根県)の回船が船のおもりのために積んできた出雲石を狐の像にして奉納したものだといわれています。参道には「こんこん様の両足をなでた手を額にあてると、ご利益がいただけるのだとか。」

そろそろ坂道が始まるぞ。登山の開始じゃ。



享保元(1716)年創立とされている「湊稲荷神社」。この神社には、台座の上の像を回すことのできる「願懸け高麗犬」があります。港が賑わっていた昔、船乗りが遊びに来ることを願う町の女たちは、西風が吹いて船が足止めされるよう高麗犬の頭を西に向けたといいます。これが「高麗犬をまわして願懸けをする」ことに変化し、今に伝わっています。「下(しも)の新地の道楽稲荷」という唄はここからきているんですね。



願いはなんじゃ〜 オホホホ〜
女の人は左、男の人は右の高麗犬を回してな〜
願いを込めて しっかり回せ!

願随寺

中央区元祝町



「難船彫刻絵馬」、こんな絵になっていました! 荒波とスーパーマンみたいな金刀比羅大権現さんにご注目。迫力満点、かっこいいです! (横写作成:野内隆裕氏)



井上文昌「新湊之真景」安政6(1859)年(みなとびあ所蔵)



日和山

願随寺